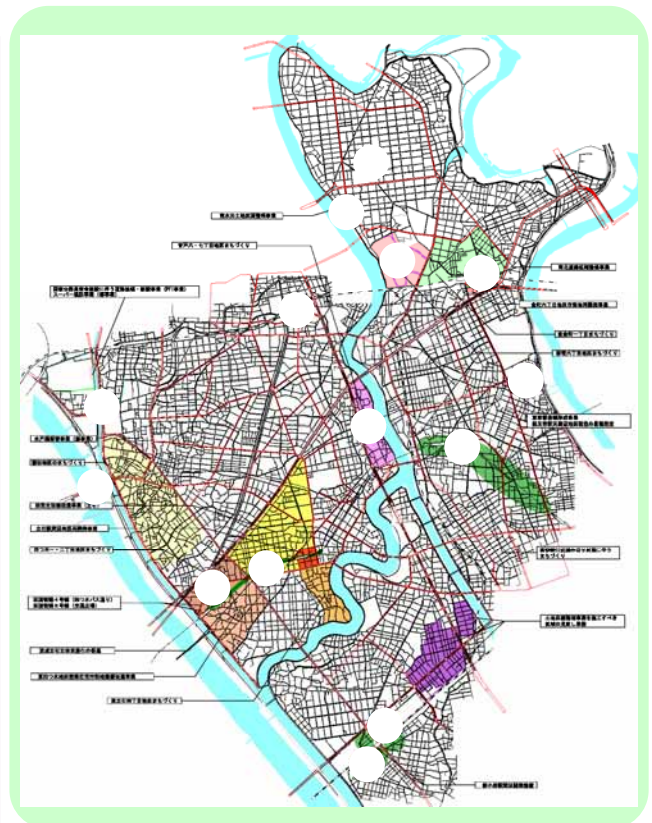


区内で進められている街づくり事業などについて

区内で進められている街づくり事業など

1. 水元地域
フィットネスパーク整備事業
南水元土地区画整理事業
 2. 金町・新宿地域
新宿六丁目地区の街づくり
JR常磐線金町駅東側南北道路の拡幅
 3. 柴又・高砂地域
京成本線(高砂駅~小岩駅間)の連続立体事業早期事業化
柴又帝釈天周辺の街並み保全、ユニバーサルデザイン
 4. 亀有・青戸地域
青戸六・七丁目地区の街づくり(慈恵医大の建替え)
亀有駅周辺の観光まちづくり
 5. 南綾瀬・お花茶屋・堀切地域
水戸橋の架け替え
京成本線荒川橋梁の架け替え
 6. 立石・四つ木地域
京成押上線の連続立体交差事業
四つ木地域の防災まちづくり
 7. 奥戸・新小岩地域
新小岩東北交通広場の整備
新小岩駅南北自由通路の整備
- 全体
- 堤防の整備
 - 都市計画道路の整備
 - 公園の整備
 - 再開発



位置図

フィットネスパーク整備事業（水元地域）

老朽化している水元体育館・温水プールの建替えを含み、都立水元高校跡地の一部と水元中央公園を、フィットネスパークとして整備します。

水元高校跡地



<フィットネスパーク整備事業>

- ・安全で快適な区民スポーツ活動のための施設の確保及び施設の安定的な運営
- ・区内スポーツ施設の不足に対する対応
- ・生涯スポーツの場として、体力づくり等を行う施設の整備
- ・地域のスポーツ活動を支援する施設の整備
- ・競技人口の拡大と競技力の向上のための「見るスポーツの提供」の場の確保

3

南水元土地区画整理事業（水元地域）

土地区画整理事業による都市基盤の整備改善を行い、防災性の高い安全で快適な街づくりを進めています

面積：約5.4ha

事業認可期間：
平成15～30年度

昨年3月に換地設計を決定し、事業区域を7期に分割して事業を進めています

第1期施工地区では、今年5月より道路等の工事に着手し、第2期施工地区では、地権者との移転補償交渉を行っています



4

新宿六丁目地区の街づくり（金町・新宿地域）

大規模な工場跡地の土地利用転換にあわせて、地域の活性化に資する新たな生活拠点の形成を目指す

面積：約33.3ha

本年3月には、東京理科大学と基本協定及び土地譲渡契約の締結を行い、本年12月の東京都都市計画審議会への付議を目指し、取り組んでいます



現地写真



計画地内の建物・公園については想定(イメージ)図



研究所イメージ



特別養護老人ホーム

5

JR常磐線金町駅東側南北道路の拡幅（金町・新宿地域）

JR常磐線金町駅東側南北道路の拡幅は、常磐線で分断された地域の利便性や、地域の防災性の向上、金町駅周辺地域の活性化を目的として、進めているものです

完成予定 平成23年春の開通を予定しています



施行前



完成イメージ図

6

京成本線（高砂駅～江戸川駅間）の鉄道立体化の早期事業化

（柴又・高砂地域）

高砂駅周辺の交通利便性や防災性を向上させ、魅力と活力ある生活拠点を形成するため、「高砂地区開発協議会」では、鉄道立体化と一体となった街づくり計画を検討しています

昨年6月には、都内20路線ある「鉄道立体化の検討対象区間」の中から、新たに国の事業採択を目指す「事業候補区間」の5箇所に選定される

現在、平成22年度の成田新高速鉄道開通に伴う当面の対策として、金町線の高架化工事が進められています

現地写真



7

柴又帝釈天周辺の街並み保全、ユニバーサルデザイン（柴又・高砂地域）

柴又まちなみ景観ガイドライン指定（平成20年2月東京都承認、面積約9.0ha）

ガイドラインの運用により帝釈天境内の景観、江戸川堤、柴又公園からの眺望、参道から帝釈天への遠景など、景観を配慮した建築物等の制限を行い、歴史的な景観の保全を図っています



現地写真



8

青戸六・七丁目地区の街づくり（亀有・青戸地域）

大規模工場跡地を活用した住宅系複合市街地開発や、病院の建替え等を適切に誘導し、生活道路の整備改善により道路ネットワークを確保しながら、あわせて防災活動拠点としての機能を有する公園を整備することで、交通利便性の向上や防災上の安全を高めるとともに、適切な土地利用の推進により、安全かつ快適な市街地の形成を進めています

現地写真



※イメージイラストであるため、今後変更の可能性あります。

亀有駅周辺の観光まちづくり

（観光プラン・リーディングプロジェクト）（亀有・青戸地域）

亀有駅周辺への来訪者が、「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の舞台として描かれたまちに来たと実感しながら亀有及びその周辺地域を楽しめるような取り組みが商店街を中心に進められています

亀有駅北口、南口に続き、亀有銀座商店街中央ポケットパークに、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の「両津勘吉」の少年時代のブロンズ像が平成20年11月に完成しました



水戸橋の架け替え（南綾瀬・お花茶屋・堀切地域）

小菅一、三丁目を結ぶ綾瀬川に架かる水戸橋の箇所の堤防は、橋梁により切り欠かれた状態となっており、これまで、水防上注意を要する箇所に指定し、陸閘の閉鎖と、積み土嚢により、水防時の対応を行ってきました

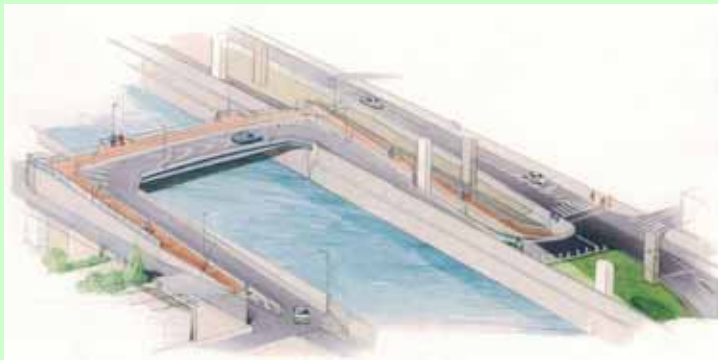
水戸橋の架け替えについては、長年の懸案事項でありましたが、地元合意がなされ、平成19年2月から架け替え工事に着手しています

今年度は、右岸側の橋台設置工事に着手しており、24年度末、新橋供用開始を予定しています。

現地写真



イメージパース



11

京成本線荒川橋梁の架け替えと堀切地区のまちづくり

（南綾瀬・お花茶屋・堀切地域）

広域的な地盤沈下によって低くなってしまった堤防は、必要な高さまでかさ上げされましたが、橋梁部は橋梁自体が支障となってかさ上げができないため、京成本線荒川橋梁付近の堤防は周辺の堤防に比べて低い状態にあります

増水時には、堤防の低い部分から水があふれて堤防が決壊する危険性が生じるなど、治水対策上の課題があり、架け替えに向けた調査が進められています

区では、この事業を契機として、堀切地区のまちづくりを進めるため、勉強会を立ち上げ、目指すべき街の将来像を検討しています

現状写真



架替え後のイメージ



京成押上線荒川橋梁架替え状況

12

京成押上線の連続立体交差事業（立石・四つ木地域）

京成押上線（四つ木駅～青砥駅間）約2.2km区間11箇所の踏切を、鉄道の立体化により除去し、交通渋滞の解消、道路交通の安全の確保、地域分断の解消を図り、これを契機として沿線まちづくりを一体的に進めています

平成15年に事業認可を取得し、平成21年3月末で、用地取得状況は、約60%となっています

現地写真



イメージパース



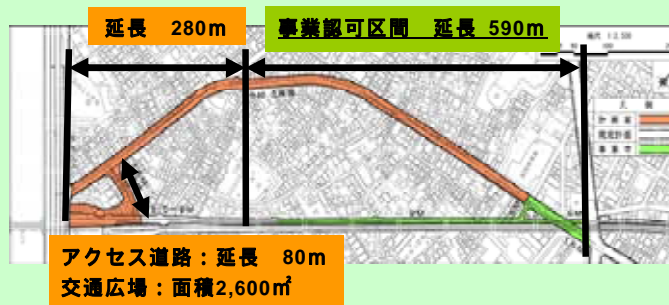
13

四つ木地域の防災まちづくり（立石・四つ木地域）

延焼の防止や、避難路の確保、歩車道の分離による歩行者の安全性の確保などを目的に、区画街路4号線（四つ木バス通り）及び区画街路6号線（交通広場を含む）の整備を進め、交通機能や住環境の改善を図ります

密集市街地の改善を図るため、住宅市街地総合整備事業（密集型）を活用したまちづくりを進めています

東四つ木地区の現地写真



現地写真



四つ木駅周辺整備イメージ

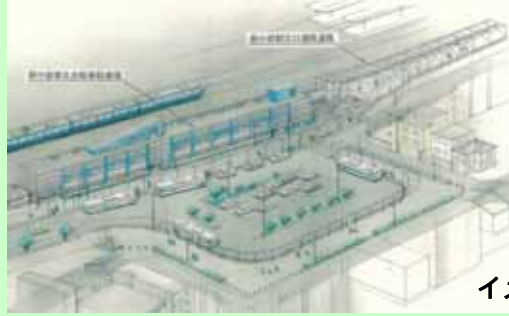
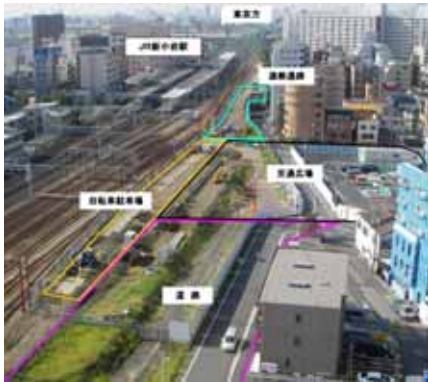
14

新小岩東北交通広場の整備（奥戸・新小岩地域）

駅周辺の交通や歩行者動線の円滑化を図り、利便性の向上と交通の安全を確保するため、交通広場、北口連絡通路、駐輪場などの整備を進めています

平成23年1月供用開始予定

現地写真



イメージ

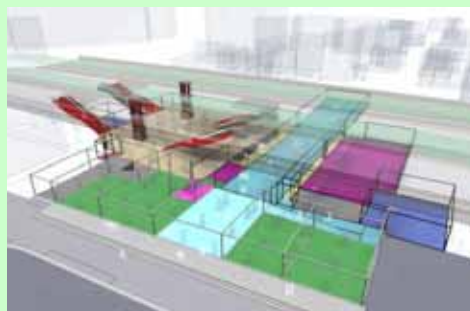
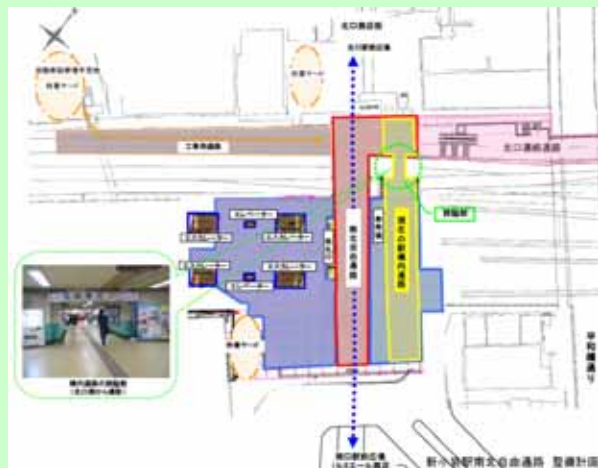
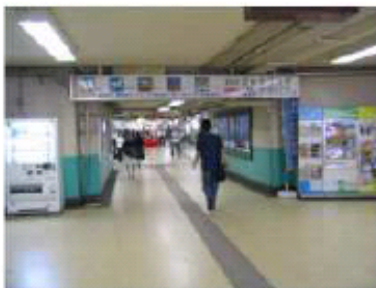
15

新小岩駅南北自由通路の整備（奥戸・新小岩地域）

新小岩駅の北口と南口の広場を接続し、自由に通行できる通路の整備を進めるため、JR東日本及びJR貨物と協議を進めています

今年度に基本協定を締結し、概略設計に着手する予定です

現地写真



イメージパース

16

堤防の整備（中川テラス化・綾瀬川スーパー堤防）

中川では、護岸の耐震補強工事を進めるとともに、水辺のテラス整備を進めています

綾瀬川では、堤防の耐震性の向上と潤いのある水辺の再生を図るため、スーパー堤防の整備を進めています



中川テラス



綾瀬川スーパー堤防イメージ



現地写真（綾瀬川スーパー堤防工事）

17

都市計画道路の整備

都市計画道路は、都市の骨格を形成し、安心して安全な区民生活と機能的な都市活動を確保する、都市交通における最も基幹的な都市施設です

区内の都市計画道路は、計画延長91.7 km、完成延長58.2 kmで完成率が63.5%となっています

道路の役割に応じ、地域格差のない体系的、段階的な道路網の形成を目指し、事業を進めています

（施行前）



（施工後）



18

公園の整備

公園は、レクリエーション利用の場や災害時の避難場所となり、またヒートアイランド現象の緩和等、都市の生活環境を改善する役割を担い、区民の健康的で豊かな生活を支えています

細田三丁目
せせらぎ公園

(施工前)



(施工後)



出典：国土地理院



東立石緑地公園：平成21年3月開園

19

再開発（金町六丁目地区市街地再開発事業）

金町六丁目地区市街地再開発組合により、平成21年6月に本体工事を完成し、現在、区画街路5号線の整備などを進めています

本年10月17日には、中央図書館の開設が予定されています

面積：約1.2ha

事業認可期間：

平成16～22年度



2006年7月



2009年6月

20